

令和3年度 帯広市民文化ホール運営審議会 議事概要

開催日時 令和3年7月30日（金）18時30分～19時30分
場 所 帯広市役所 10階第5A会議室
出席委員 角委員、北野委員、近藤委員、関口委員、田本委員、富永委員、羽賀委員、久富委員、宮田委員、本江委員、若月委員 11名
事務局 井上生涯学習部長、葛西生涯学習部参事、藤原生涯学習文化課長、杵淵係長、赤間主任、葦島主任補

【内容】

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 議 題

（1）正副委員長の選出について

- ・帯広市民文化ホール条例施行規則第18条第1項の規定に基づき、委員の互選により、本江委員を委員長、角委員を副委員長に選出。
- ・本江委員長が議長となり、以後の審議を進めた。

（2）令和2年度事業について

【説明】

- ①第7期帯広市総合計画における施策の目指す姿、②利用状況表、③市民サービスの向上、④文化振興事業実績、⑤帯広市民文化ホールアンケート実施結果について事務局より説明

【質疑応答】

（委員）

・文化振興事業の企画・実施について、市民ニーズの具現化として、利用者アンケートや帯広市民劇場運営委員会の意見を参考にしているとあるが、それ以外に参考にしているものはあるか。

（事務局）

- ・現在は主に利用者アンケートと帯広市民劇場運営委員会からの意見を参考としている。

(委員)

- ・意見として、全国の優れた公演の情報を持っている団体もあるので、幅広く意見をまとめていただきたいと思います。

(3) 令和3年度事業について

【説明】

①文化振興事業、②平成29年度～令和3年度の文化振興事業について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

- ・令和2年度事業についての意見にもあったが、文化振興事業について、優れた公演の情報を持っている様々な団体から意見や推薦を集めるような機会や仕組みがあっても良いのではないかと。

また、令和3年度の文化振興事業について、お笑いの事業が予定されているが、安易にできあがったものを持ち込むよりも、観客を育てるような事業を実施した方が良いのではないかと。

(事務局)

- ・指定管理者と文化振興事業について協議するにあたっては、予算や、相手方のスケジュール等を考慮しなければならない事情もあり、加えてコロナ禍の中で、なかなか皆さんから情報を頂く機会が設けられなかった点についてご理解をいただきたい。

事業内容について様々な情報や意見を聴取し、市民の方のニーズを把握しながら検討していきたいと考える。

(委員)

- ・市の主催事業では、ほとんど演劇の公演が行われていない。近隣町村の方が充実している。安易に人を呼べる事業は、観客にとって良い面もあるかもしれないが、公共の力によってこそ実現できる事業というものがあるのではないかと。

(委員)

- ・釧路では定期的に演劇の公演を呼んでいる鑑賞団体もある。他市町村と連携してそういった事業を呼び込むこともひとつの手法ではないかと。

(事務局)

・現在も、帯広市だけでは実施することが困難な事業等について、他市町村と連携しながら事業を実施しているが、特定のジャンルが少ないとの指摘については、意見として指定管理者にも伝え、今後の参考としていきたい。

(委員)

・令和3年度の文化振興事業について、新型コロナウイルスの影響により、小中学校において複数学年にわたる学習活動が困難な状況のため「小中学生のための札幌コンサート」が中止となったが、今後新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとしてもこの状況は継続するのか。

もともと、小中学生向けの鑑賞事業が少ないと感じており、学校向けのイベント以外では、なかなか鑑賞機会の無い生徒も多いと思うので、学校を対象とした事業がもっと増えてほしいと思っている。

コロナ禍ということもあり、文化系の部活に入部する生徒が減少していると聞いており、文化を担う人材の枯渇を心配している。子供達に、より文化に興味を持ってもらえるような事業があると良いと思う。また、学校間の鑑賞機会の格差を感じているので、均等に機会があれば良いと思う。

(委員)

・学校の教育活動については、基本的には学校で決定する事柄である。校長会での提言など、生涯学習文化課でできる範囲で考える必要があると思う。

(事務局)

・各学校には、鑑賞事業等のご案内をしており、学校ごとに判断をいただいている状況である。その他希望する小学校に対し、帯広市民劇場による出前講座等も実施している。学校間のバランスに関して事業担当課として出来ることは限られているが、いただいた意見を参考にさせていただきたい。

小中学生のための札幌コンサートについては、もともと小学校4年生から中学校3年生までの6年間に一回は鑑賞していただけることを想定して実施している。残念ながら今年度は中止となってしまったが、子供達が鑑賞の機会を失わないように、令和4年度は一般向けに予定していたものを、小中学生向けに振り替えて実施する予定である。

(委員)

・子供達全員が芸術文化に触れることのできる機会が、文化の底上げには必要だと思う。平等に子供達に鑑賞の機会を与えられるように、市として予算配分等も含め配慮してほしい。

また、子供向けの鑑賞事業について、帯広市はキャラクターショーが多いと感じている。キャラクターショーはあくまで興行であり、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供しているとは言えないのではないか。優れた公演を実施してほしいと思うし、そのために協力もしたいと思う。

(事務局)

・いただいた意見を参考に検討していきたい。

(4) その他

【説明】

①新型コロナウイルス感染拡大防止対策について ②次期指定管理者の選定について

(委員)

・今現在文化ホールの収容人数については要件により100%での利用が可能とのことだが、今後感染者が増えた場合また制限がかかることになるのか。

(事務局)

・収容人数などの制限、臨時休館等に関しては、状況に応じ、国や道の指針に基づき、都度決定している。現段階ではそういった予定は無いが、今後の感染状況により新たに指針等が示された際には、利用制限や臨時休館等の措置を取る可能性はある。

4 閉 会